

令和4年2月7日

緑小だより

横浜市立緑小学校

2月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

mail y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

まだまだ厳しい状況が続きますが!!

学校長 能城 順一

保護者の皆様、1月25日（火）からの全校臨時休業に際しましては、皆様に多大なご苦勞とご負担をおかけしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。1月24日（月）には学校関係者の陽性者の増加と2学級の学級閉鎖があり、このまま教育活動を続けると他の学年学級でも閉鎖となる状況が迫ってきたと判断し、市教育委員会と協議の上、全校臨時休業に至りました。また、1月28日（金）には、全児童と全職員の健康観察の結果を踏まえ、週明けからの安全な学校再開には十分に至らない状況と判断し、全校臨時休業の延長を決断いたしました。特に、全校臨時休業の延長に関しては、再び市教育委員会と協議しながらも、校長として、全児童と全職員の安全と健康を第一に考えての、悩みに悩んでの決断でした。ぜひ、ご理解をいただければと思います。

この期間、私が大変ありがたく感じた事は、保護者の皆様からの「学校関係者の陽性者数等の問い合わせ」が全くなかったことです。学校関係者、つまり児童にせよ職員にせよ、また、そのご家族にせよ、新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された時の混乱を、今こそ私たちは「思いやり」をもって想像すべき時なのです。緑小学校の保護者の皆様、私は、皆様の「温かさ」や「思いやり」を、この全校臨時休業中に、これ以上ないほど強く感じる事ができました。本当にありがとうございました。

この全校臨時休業中、本校の職員は「オンライン授業」に全精力を傾けました。朝の会と2時間に限定しての授業ではありましたが、保護者の皆様、いかがお感じになられたでしょうか？私は、「オンライン授業」を実施している全教室を毎日巡回しましたが、特に初日など、本校の職員の奮闘ぶりに、胸が熱くなるほど感動しました。中でも、職員が欠けている学年もあるので、2クラス同時に、時には4クラス同時に、授業を配信している姿には、本校のチームワークの素晴らしさに、校長として誇らしく思えた程でありました。職員は、この非常事態の中でも、例えオンライン上であっても、子どもたちと繋がれることを大変喜んでおりました。校長としては、その喜びの声を聞くことが大変嬉しく、教師という仕事の「やりがいとは何か？」という原点に気がつかせてくれたオンライン授業でした。

学校再開とはなりませんが、社会全体において、新型コロナウイルス感染症の猛威は衰えておらず、またいつ学級閉鎖や全校臨時休業となるかの予測はつきません。保護者の皆様には、ご負担をかけるばかりなのですが、校長として常に心しているのは「児童と職員の安全と健康を第一に考え、判断する」という姿勢を貫き通すということです。まだまだ厳しい状況が続きますが、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を何卒お願い申し上げます。